

点字講座・松山盲学校との交流体験学習会報告

私たち人権委員会と生徒会役員は、11月7日から点字講座（4回実施）で点字の成り立ちや打ち方について学びました。また12月16日には、愛媛県立松山盲学校との交流体験学習会を実施しました。

今回は、点字講座の様子や松山盲学校との交流体験学習会の報告をします。

1 点字講座

点訳奉仕四つ葉グループの二宮紀子さんと小川静乃さんを講師にお迎えして点字を教えてくださいました。



<参加者の感想>

- 何気なく過ごしていると点字があることに気がつかなかったけど、講座を受けることで身近なところに点字があることを知ることができました。
- 私は何も不自由なく読み書きして日々を過ごしていますが、私が知らないだけで、色々な工夫を凝らして日々を過ごしている人たちがいるということを実感させられました。
- 点を触るだけで何が書かれてあるのか分かるのがすごいと思いました。自分は目をつむって指で触っても違いが分からなくて混乱しました。
- 私は将来、社会福祉士か介護支援専門員になりたいと考えているので、将来のための勉強になりました。
- 点字は6つの点だけで、50音だけでなくアルファベットや数字も表すことができるということを知り、とても驚きました。
- 私たちは日ごろから何事もなく文字を書いているのに対して、目の不自由な人たちは、どれほど苦労してきたのかがよく分かりました。

2 松山盲学校との交流体験学習

12月16日の午後、人権委員6名・生徒会役員4名・福祉系列の生徒1名の計11名が松山盲学校を訪問し、松山盲学校の生徒と交流体験学習を行いました。

自己紹介をした後、それぞれの学校生活について質問をし合いました。

その後、2グループに分かれて体験学習を行いました。1つは「ガイドヘルプ」、もう1つは「点字体験」でした。「ガイドヘルプ」では、2人1組になり一方がアイマスクをし、もう一方がその人が歩く際の案内を体験しました。「点字体験」では、盲学校の生徒さんに教わり、実際に自分の名前や学校名を点字板を使って打ちました。また、盲学校で使われている教科書や、読み上げ式の電子スケールなど、目の不自由な人が使う日用品も見せていただきました。



みんなで自己紹介。



「ガイドヘルプ体験」



点字を打つ速さにびっくり!!

<参加者の感想>

- 私は、道路にある展示ブロックの大切さが身をもって分かりました。ガイドヘルプで、一緒に歩いてくれる人と同じくらい点字ブロックがあることが心強かったです。
- 点字ブロックに自転車や車を置くと大変なことになってしまうので、一人ひとりが気をつけなければならないと思いました。
- 今回の体験で、目の見えない中での生活は大変だということが分かりました。その上で、目の見えない人だけでなく困っている人がいたら手を差し伸べることができる人になりたいと思いました。
- 目が不自由でも、前向きにできることを一生懸命やっている姿を見て、私ももっと頑張ろうと思いました。
- 自分も持っているスマートフォンにも視覚障がい者のための音声読み上げ機能がついていたり、背景の色を反転させることができたり、様々な場所にバリアフリーがあることを知りました。
- 点字を打つことには少しなれたけど、点字を読めるようになるにはまだまだ時間が必要だと思いました。

手話講座・松山聾学校との交流体験学習会報告

私たち人権委員会と生徒会役員は、11月7日から手話講座（4回実施）で手話を学び、12月19日に愛媛県立松山聾学校との交流体験学習会を実施しました。今回は、手話講座と松山聾学校との交流体験学習会の報告をします。

1 手話講座

手話サークルあやめ会の岡本貞信さんと田川美智子さん、中屋英子さんを講師にお迎えして手話を教えていただきました。

<学習内容>

- ・「こんにちは」「はじめまして」「ありがとう」などのあいさつ
- ・自己紹介の方法（名前、生年月日、趣味、部活動など）
- ・それぞれの手話の由来など



<参加者の感想>

- ・手話は難しいものだと思っていたけれど、伝えたいものを身振りや手振りで表すだけでも、伝わると言うことを知りました。
- ・昨年も受けていて二度目の手話講座だったので、スムーズに理解することができました。皆から「手話、上手やね。」と言われて嬉しかったです。自分の手話が相手に伝わった時が一番嬉しいです。
- ・手話は、するよりも、読み取る方が難しかったです。どの位の時間をかけたら読み取れるようになるのだろうと思いました。来年も手話講座があれば、受講したいです。また、どこかで手話を使っている人を見たら、挨拶などをしてみたいです。
- ・手話を学ぶのは初めてでしたが、朝・昼・夜の挨拶や様々な物の名前を覚えられました。手話には色々な意味があり、物の形から由来する手話もあって面白かったです。

2 愛媛県立松山聾学校との交流体験学習

12月19日の午後、人権委員11名・生徒会役員6名と・福祉系列の生徒1名の計18名が松山聾学校を訪問し、松山聾学校高等部の生徒4名と交流体験学習を行いました。

開会式の後、手話で自己紹介を行った後、グループに分かれて手話カルタをしました。出題者の手話を見て、意味を想像しました。最後は、自由歓（筆談等によるフリートーク）を行い、楽しく交流しました。

<活動の様子>



開会あいさつ



手話を使っての自己紹介



手話カルタ



自由歓談



集合写真



閉会あいさつ

<参加者の感想>

- ・初めはすごく緊張しましたが、生徒の皆さんは、私たちと同様、個性があり、私と同じ趣味の人もいて、すごく楽しかったです。
- ・コミュニケーションをしっかりとる為に、正しく、分かりやすく動かすことを意識しました。自分が伝えたいことを手話で伝えられて、嬉しかったです。コミュニケーションの大切さを学べる体験でした。
- ・自己紹介では、何回も何回も練習しておいたおかげで、間違ったり忘れてしまうことなく、手話ができ良かったです。手話カルタでは、初めて見る手話ばかりで1枚も取れませんでした。悔しかったです。色々な手話を知ることができて嬉しかったです。
- ・歓談では、ホワイトボードを使いましたが、ホワイトボードだけでなく、もっと手話を使いたいなと思いました。手話ができなくても仲良くなれたのがとても嬉しかったので、次の機会では、もっと手話を使って会話ができるようになりたいです。